

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」 第4回ピッチイベント開催

- インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」は、自治体（施設管理者）が抱える施設管理に関する課題に対し、民間事業者等が課題解決に繋がる技術等を紹介する**第4回ピッチイベント（技術提案会）**を実施しました。
- ピッチイベントでは、6つの課題に対し、民間事業者等12社が自社製品やサービスの紹介を行い、紹介された技術に対し、施設管理者から積極的な質疑（施工条件、価格等）等、意見交換が行われました。
- 新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン形式で開催し、全国から多数の傍聴者にも参加いただきました。

開会挨拶



フォーラムリーダー 藤井 堅
(広島大学名誉教授)

- 日 時：令和3年12月23日（木）13:30～17:30
- 開催形式：オンライン形式（配信会場は復建調査設計（株））
- 参加者：約90名（JCIMちゅうごく、自治体・民間企業、中国地整等）

▼課題および参加自治体、プレゼンター

課題番号	課題	対象自治体	プレゼンター
No. 1	ため池の点検に係るコストを軽減できる技術	倉敷市	積水樹脂株式会社
No. 2	日交通量1万台以上でも10年間耐久する白線	津山市	株式会社キクテック
No. 3	公園内の仮設トイレへの雨水の活用	岡山市公園協会	一般社団法人水土の技術研究協会
No. 4	圧送式下水道管渠の点検調査技術	広島市、福山市、北広島町、庄原市	株式会社クボタ、玉野総合コンサルタント株式会社
No. 5	イノシシ対策技術	神石高原町、呉市、湯梨浜町	一般社団法人日本イノシシコンサルタント協会、株式会社ダイクレ、ラボテック株式会社
No. 6	防草・除草技術	岡山県、西粟倉村、東広島市、三原市、呉市、福山市、玉野市	小泉製麻株式会社、マックストン株式会社、全国防草ブロック工業会、日産化学株式会社

施設管理者が抱える維持管理の課題収集

ピッチイベント
(課題を解決する技術の提案会)

実用化を検証する現場実証試験
(自治体が管理する施設)

マッチング（社会実装）※随時

▲技術マッチングに関するイベントフロー

講評



メンター 宮本 文穂
(山口大学名誉教授)

閉会挨拶



中国地方整備局 企画部
事業調整官 梅田 俊夫



▲配信会場の様子

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」 第4回ピッチイベント開催

■ 6つの課題に対し、民間事業者等12社が自社製品やサービスの紹介を行い、紹介された技術に対し、施設管理者から積極的な質疑（施工条件、価格等）等、意見交換が行われました。

<p>No.1 ため池の点検に係るコストを軽減できる技術</p>	<p>No.2 日交通量1万台以上でも10年間耐久する白線</p>	<p>No.3 公園内の仮設トイレへの雨水の活用</p>

No.4
圧送式下水道管渠の点検調査技術

<p>No.5 イノシシ対策技術</p>	<p>No.6 防草・除草技術</p>

6つの課題に12社が提案 第4回ピッチイベント開催 —JCIMちゅうごく—

「業務める」松島大学の... 提供された課題は「このピッチイベントは、施設管理者のニーズと民間企業等のシーズをマッチングさせ、有効的なインフラの維持管理へつなげることを目的としているが、まずは新しい技術を使ってみようというところが、非常に重要だと思ってい... 未発表な技術でもさまざまな問題を明確に... し、改善を重ねながら解... 用」では、水の技術研... いる」などを述べた。今回、地方自治体から倉敷市が求めた「ため池の点検に係るコストを低減できる技術」は、津市が課題にしている「日交通量1万台以上でも10年間耐久する白線」については、クテックがそれを導入効果などを紹介した。岡山市が提供した「公園内の仮設トイレへの雨水の活用」では、水の技術研... 究会が技術の優位性を認め、広島市、福山市、庄原市、北広島市が抱える悩み「圧送式下水道管渠の点検調査技術」には、クボタと玉野聯合コンサルタンツがそれぞれ、神石高原町が求めた「アインシ」対策技術に対しては、日本インシコンサルタンツ協会、ダイクレ、ラボテックが課題解決につながる技術を提案。岡山県、三原市、西栗倉村、東広島市が必要としている「防草・除草技術」には、小泉製薬、マックス工業、日産化学が参加し、アールポイントなどもわかりやすく紹介した。

各社のプレゼン後は、活発な質疑応答も行われた。今後、ニーズとシーズのマッチングが成立した場合は、試験フィールドが提供される予定だ。

ピッチイベントの模様

▲オンライン会場の様子

▲令和3年12月27日中建日報